

# 学道一如

発行 小樽双葉高校  
生徒会通信  
2023年6月12日  
第14号

## 学校祭テーマ「解放」

### コロナ後、本格開催に

調査が終わり、学校祭の準備が本格的に始まろうとしている。生徒会執行部の動きが活発になってきた。学校祭実行委員長の長谷川亜莉さん(3-4、写真前列中央)に現在の状況やどんな学校祭にしたいのか、その思いを聞いた。

現在、生徒会執行部は3年生4名、2年生5名、1年生8名だ。コロナが収束して、本格的に取り組む学校祭だが、経験者は誰もいない。過去の資料(データ)を見て、ステージ発表やクラス展示などを取り仕切る。

長谷川さんは「私の役割は、執行部に仕事をふるること。また、生徒の要望を聞き、先生方と交渉することです。一致点を見つけてるのは大変です。」と語った。すでにクラスTシャツの制限が多いことで、先生方と交渉を重ね、条件付きでオリジナル・デザインでなくてもよいこと、ただコンテストの点数は低くなることなどを確認した。

「3年生にとっては初の通常の学校祭。楽しみ、かつ伝統を作ってほしい。また、有志で学校祭ポスターを募集している。コンテストをして採用する」という。



生徒会執行部、双葉ポーズで



左から大谷桃代(1-4、ベース)、三影はつか(1-2、キーボード)、伊藤孝将(2-3、ベース・ドラム)大塚翔太(1-4、ドラム)

## 音楽同好会で2バンドがステージに

音楽同好会(会長・横山灯(3-4)、副会長・伊藤孝将(2-3))に1年生が7名加わり、学校祭の演奏に向けて、練習に熱が入っている。

昨年の学校祭では1バンド(6名)が「ただ君に晴れ」「水平線」「怪獣の鼻歌」を披露し、「結構手応えがありました」と伊藤孝将くん。今年も1年生が7名加わり、2バンド出演の予定だ。

ベース担当の大谷桃代さんは「バンド系のアニメを見て、ベースに憧れて入りました」という。キーボード、アコーディオン、

ギターに挑戦している三影はつかさんは「自分の好きな楽器を演奏できてうれしいです。」と述べている。曲目は「ドラマツルギー」は決まっているが、これから相談して決めるので「楽しみにしていてください」とのことだ。もう一つのバンドは特進クラスのメンバーなので練習時間も限られており、6時頃からスタートする。伊藤くんは「ミスのないように落ち着いて演奏したい。この部活はのんびりしていて、居心地が良いです」とアピールしている。



石澤遥人くん(中央)、市村星羅くん(左、3-3)はフルーツを燻製にしてお菓子作りに挑戦した。先生方に試食してもらい、感想を聞き、改良を重ねていくという。



笑顔で試食する玉川めぐみ先生(右)

今回、いちご、パイナップル、みかんを5分間燻製にし、クレープにはさんだり、タルト(3-3大八木聖矢くん作)にのせて試食してもらった。卵不足もあり、クレープは卵なしで求肥のようなテイストになった。3種類のフルーツの中ではみかんの燻製が美味との評判だった。感想の中には「クレープはさくらもちの食感に近いが、クレープが数枚重なり、フルーツとの一体感が損なわれる」といった鋭い指摘もあった。試作を重ね、さらに美味しいスイーツ作りを追求していく。